

ボランティア活動の楽しさを知ろう！語ろう！体験しよう！

# 地域共生ボランティア養成講習

「ボランティアの楽しみを知ろう～総合編」

講師 昆布山良則氏

(東京オリンピック・パラリンピックボランティア)



開催日：平成4年10月22日（日）14時00分～16時00分

会場：トークネットホール仙台 第6会議室

主催：公益社団法人 長寿社会文化協会

後援：仙台市教育委員会



ボランティア活動の楽しさ知ろう！語ろう！体験しよう！

## 「地域共生ボランティア養成講習」

第2回「ボランティアの楽しさ知ろう～総合編」

令和4年10月22日（土）午後2時～午後4時

トークネットホール仙台（仙台市民会館）第6会議室

講師

# 昆布山 良則

東京オリンピック・パラリンピック実行委員

連絡先

千葉県福祉ふれあいプラザ

〒270-1151 千葉県我孫子市本町 3-1-2  
けやきプラザ内

TEL04-7165-2881 FAX04-7165-2882

<http://www.furepla.jp/>

公益社団法人 長寿社会文化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8  
日本女子会館 1F

TEL03-5405-1501 FAX03-5405-1502

<https://www.wac.or.jp/>

### 【プロフィール】

新潟県加茂市出身。大学卒業後、家電・半導体・環境等専門誌の編集記者の後、2009年公益社団法人長寿社会文化協会

（WAC）入社。高齢者の健康と生きがいづくりの支援活動などを行う団体で、コミュニティカフェ（居場所・たまり場・サロン・縁側等の総称）の設立・運営・交流支援と情報の受発信、会員向け情報誌『ふれあいねっと』の取材・執筆・編集等に携わっている。2017年度からは、WACが指定管理する千葉県福祉ふれあいプラザで広報や出張研修も担当。

ボランティアは2011年以降、東日本大震災や風水害の被災地の復興支援活動に参加。千葉県赤十字防災ボランティアに登録。普通救命講習も修了。

2018年から地元・千葉市の「大賀ハスのふるさと会」でハス園の整備や栽培作業に従事。ほかに、高齢者団体のチラシ制作、課題整理などのプロボノも経験。

TOKYO2020オリンピック・パラリンピックでは大会ボランティアやパラリンピック開閉会式のキャストとして延べ23日間活動した。

## ボランティアの楽しみを知ろう

TOKYO2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア

公益社団法人長寿社会文化協会

全国コミュニティカフェ・ネットワーク事務局

昆布山 良則

[http://blog.canpan.info/com-cafe/  
com-cafe@wac.or.jp](http://blog.canpan.info/com-cafe/com-cafe@wac.or.jp)

2022年10月22日（土）

地域共生ボランティア養成講習

仙台市民会館



## 自己紹介



- 1960年 新潟県中越地方北部の加茂市生まれ
- 1984年～2008年 家電・半導体・環境等の専門誌で編集記者
- 2009年～ 公益社団法人長寿社会文化協会でコミュニティカフェ開設・交流事業、会報誌「ふれあいねっと」の編集などを担当
- 2007年～ 千葉県福祉ふれあいプラザ（我孫子市）で広報と介護福祉の出張研修も担当
- 平成29年度厚生労働省老健事業「認知症の人の行方不明や事故等の未然防止のための見守り体制構築に関する調査研究事業」検討委員
- TOKYO2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア、パラリンピック開会式・閉会式アシスタントキャスト。千葉市で「大賀ハスのふるさとの会」ボランティア



# 公益社団法人長寿社会文化協会 (Wonderful Aging Club=WAC)

設立:1988年4月22日、社団法人許可(主務官庁:内閣府・厚生労働省)

公益社団法人認定:2010年6月1日

理事長:升田 忠昭(高齢社会NGO連携協議会理事)

本部:東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館1階

会員:個人約800人、企業・団体約20

事業

- (1) 認知症疑似体験プログラムで啓発活動を実施
- (2) 高齢者疑似体験プログラム「うらしま太郎」の開発・普及
- (3) 福祉サービス第三者評価サービス(東京都・神奈川県・横浜市・川崎市)
- (4) 高齢者を対象とした料理教室(品川区)
- (5) 介護予防に役立つ健康麻雀の普及(品川区・杉並区)
- (6) 会員情報誌『ふれあいねっと』の発行
- (7) 全国に33カ所のポイント、3カ所のネットワークセンターを設置し、団塊世代の退職後の生き方探しや地域活動を支援。
- (8) コミュニティカフェ開設・交流支援事業
- (9) 千葉県福祉ふれあいプラザの指定管理



# WACのコミュニティカフェ支援事業

1. 書籍『コミュニティ・カフェをつくろう!』を2007年12月発行。事例と設立・運営ノウハウを紹介(宮城県は仙台市民図書館など9館に蔵書あり)
2. コミュニティカフェHPの開設、約12,000人にメールマガジン発信(2007年～、不定期)
3. WACのコミュニティカフェの定義を定める
4. コミュニティカフェ研究会の開催(2008年12月～、35回開催)
5. コミュニティカフェ開設講座の開催(2012年10月～、延べ23期、受講生数:直530人、連携団体190人。)
6. コミュニティカフェ全国交流会開催(2009年度から9回。毎回180～250人参加)
7. コミュニティカフェ・ガイドブックを発行(2010年度:富山・熊本、2013年度:神奈川・愛知・京都・石川)
8. 設立・運営支援(個別相談)、報道対応
9. 講師派遣・交流会運営(東京都文京・板橋・荒川・足立・江東の各区、東大和・府中の各市、千葉県柏・我孫子・流山・船橋・流山の各市、埼玉県蕨市・県活、青森県八戸市、新潟県加茂市、名古屋市、広島市、徳島県美波町等)



## 体験した主なボランティア

1. 東日本大震災復興ボランティア
2. 風水害復興ボランティア
3. 千葉プロボノチャレンジ
4. ハス栽培ボランティア
5. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア  
パラリンピック開会式・閉会式セレモニーキャスト



# 1. 東日本大震災復興ボランティア(1)

## 2011年7月～2017年7月

- ・2011年3月11日午後2時46分発災。
- ・街が津波に飲み込まれる衝撃的な光景に目を奪われるが、何もせずに月日が過ぎる。
- ・2004年の故郷での中越地震の際、何も支援しなかったことが引っかけかっていた。





# 1. 東日本大震災復興ボランティア(2)

- ・2011年7月、日本財団の「ROADプロジェクト足湯ボランティア」に参加し、3泊4日で岩手県陸前高田市へ。
- ・足湯につかってもらって、手をマッサージしたり、擦ったりしながら、被災者のつぶやきを聞いた。
- ・缶詰工場から流れ出たがれきりや海産物の撤去も行った。
- ・2011年は、私のボランティア活動元年。





# 1. 東日本大震災復興ボランティア(3)

- ・以来、6年間で陸前高田と隣の大船渡を約20回訪問。
- ・行った活動は、公民館や仮設住宅で住民にパソコンを教えるITボランティア、牡蠣養殖業者の作業手伝い、市内を花でいっぱいにしたという男性の農作業の手伝い、仮設住宅のお祭りの手伝いなど。





# 1. 東日本大震災復興ボランティア(4)

- ・なるべく、交通費の補助が出たり、車に乗り合わせたりして節約。
- ・一緒に活動した人や岩手の人とは現地で語らい、SNSやリアルでも交流が続いている人が多い。
- ・現地で味を覚えたモミジガサや雪っ子は今でも通販や近所の店で購入。





## 2. 風水害復興ボランティア(1)

### 2015年9月

- ・隣の茨城県・常総水害の復興支援で2回通う。
- ・民家や金属加工工場のがれきの片づけを行う。
- ・水を吸った畳が重いことを初めて体験。





## 2. 風水害復興ボランティア(2) 2019年9月

- ・我が千葉県を襲った「令和元年房総半島台風」の復興支援のため、内房の鋸南町や富津市に3回通う。
- ・民家の畳の排出や、割れた瓦や倒れた雑木の片づけに従事。被災者の苦勞の話に耳を傾ける。
- ・差し入れのおはぎを食べ、無料開放の温泉に入る。





### 3. 千葉プロボノチャレンジ(1) 2018年10月～19年2月

- ・プロボノとは、各分野の専門家が職業上持っている知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動。
- ・男女4人のワーカーでチームを作り、県内のいきいきサロンの活動を見学したり、話を聞いたりして、活動サポーター一募集のチラシを作成。





# 3. 千葉プロボノチャレンジ(1) 2018年10月～19年2月

★★★生きがい★★★健康★★★仲間づくり★★★

シニアいきいきサロン キャスト募集中

## 男のための男の居場所



そば打ち体験



パークゴルフ

楽しい～

充実



はぜ釣り大会



ボウリング大会

## 運営側の楽しみ・喜び

新しい人が参加してくれたときは嬉しいよ

イキイキ楽しそうにしているのを見れるのがいいわ

役に立っている実感 は運営側の醍醐味だよ

笑顔が見たいんですよ

参加者から元気がもたらえるんだよね

こちらが笑うからみんなも笑う

笑い合える瞬間ってホントイモん

自分の居場所を見つけた。  
俺はそう思ってるよ。

社会人時代のような心の張りを思い出せます。

自分がイキイキするためのサロン

俺はそう考えて運営してます。



●活動の企画・運営に加わってくださる方を求めています(お手当あり)。

連絡先: 山本剛(代表) 090-5443-5300

ymn0025@iccom.horrie.ne.jp

<http://seniailikisaron.hogare.jp/>

詳しくは、シニアいきいきサロン 検索



・2019年10月～20年2月にも、別の高齢者地域活動団体の課題整理で、中小企業診断士らと活動。



## 4. ハス栽培ボランティア(1) 2019年3月～

- ・大賀ハスは古代蓮の一種。71年前に地元で2,000年以上前の実が発見され、翌年開花。千葉市の花、市の都市アイデンティティの1つ。
- ・地元の東大ハス見本園の一般公開に2013年から参加。2018年からは5階の自宅マンションのベランダでハスを育て始める。
- ・2019年からは「大賀ハスのふるさとのかい」のボランティアとして、現在は市所有の見本園で月2回、栽培作業をしている。
- ・作業は、数年に1回の蓮根の掘り起こしと土の入れ替え、植え付け、施肥、藻の除去、農場の草刈り、周辺の清掃、観蓮会の運営、来場者への説明など。





# 4. ハスの栽培ボランティア(2)

## 2019年3月～

- ・2016年5月、地元で咲いたハスや自ら育てたハスの花を撮影し、全国の愛好仲間披露するFacebookグループ「Facebook観蓮会」を主宰。307人参加。
- ・2020年6月～21年3月、ハスの栽培やイベント時のガイドとして活躍するボランティア「ハス守りさん」の養成講座受講。





## 5. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア パラリンピック開会式・閉会式セレモニーキャスト(1)

### ●33カ月に及ぶボランティア・ジャーニー

- ・2018年12月、千葉県の都市ボランティア(シティキャスト)に応募。大会ボランティア(ワールドキャスト)は応募最終日に登録するも、アクセス集中により、登録完了できなかった。
- ・2019年2月、都市ボランティア落選。大会ボランティアの応募は救済され、3月、オリエンテーションに進む(この時点で内定)。
- ・10月、共通研修参加。





## 5. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア パラリンピック開会式・閉会式セレモニーキャスト(2)

- ・2020年1月、E-learningで語学研修開始。
- ・2月、セレモニーキャストに応募。
- ・3月、役割は第3希望の「何でもよい」から観客案内のチームリーダー)、会場は五輪:釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ(千葉県)、パラリンピック:幕張メッセ(千葉市)のオフアール。セレモニーキャストはパラリンピックで抽選通過。**24日、延期決定**
- ・2021年2月、セレモニーキャストの人数がコロナ禍で絞られたが、生き残る。
- ・4~7月、セレモニーキャストの仲間と各国の挨拶と国旗の勉強会を2週間に1回、オンラインで行う。
- ・5月、E-learningで役割別とリーダーシップ研修。
- ・6月、ユニフォーム一式とアクレディテーションカード(身分資格証)を受け取る。





## 5. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア パラリンピック開会式・閉会式セレモニーキャスト(3)

- ・6～7月、日本財団のYell for oneプロジェクトに参加し、全国の仲間と歌声を合  
成したラオスとサンマリノの国歌がYouTubeで公開される。
- ・7月8日、1都3県の五輪会場無観客決定。
- ・釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ(千葉県一宮町)で7月10日会場・役割別研修、25  
日と27日ACP(アクセスチェックポイント)に配置転換でボランティア。
- ・7月下旬～8月、都市ボランティアを通じて観客に配布してもらおうと、千葉市民  
が作ったおもてなしグッズの箸置き20,200個が宙に浮いたため、大会ボランティ  
アなどの仲間を通じて、東京・千葉・埼玉・静岡の約20会場で選手・大会関係者  
に受け取ってもらった。





## 5. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア パラリンピック開会式・閉会式セレモニーキャスト(4)

- ・国立競技場で8月14・18・20・22日、開会式のリハーサル。
- ・8月20日、パラリンピックは元々第1希望だったプレスサーブیسに配置転換決定。ゴールボールのトリビューン(記者席)とシッティングバレーのミックスゾーン(競技直後に記者がインタビュースペース)の掛け持ち。21日会場・役割別研修。





## 5. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア パラリンピック開会式・閉会式セレモニーキャスト(5)

- ・8月24日の開会式本番と25日からの幕張メッセ大会ボランティアと柏の葉公園総合競技場(千葉県)での閉会式リハーサル、9月5日の閉会式本番まで13日連続活動。幕張で1日だけ2シフト掛け持ち。食事や飲み物、アイスクリームは2回頂く。
- ・8月1日～9月19日まで毎日、セレモニーキャスト事務局に体調報告。PCR検査は計7回。
- ・閉会式ではOBS(オリンピック放送機構)の映像に映っており、YouTubeで見られる。





## ◆ボランティア活動の“4つの原則”

- ① **自発性**（自主性、主体性）  
他から強制されてやったり、義務としてやったりするのではなく、個人の意思で行う活動
- ② **社会性**（公益性、利他性）  
特定の人たちに限定せず、誰もが豊かに暮らせる社会（地域）づくりに役立つことを目的とした活動
- ③ **無償性**（無給性、非営利性）  
経済的な報酬や対価を求めない（得ない）活動
- ④ **先駆性**（創造性）  
今、社会で何が必要とされているのかを考え、内容を見直したりしながら行われる活動



## ◆私のボランティア活動の“4つの原則”

- ① **なるべく持ち出しはしない。**  
多額の経費を使って、遠くへは駆け付けない。遠くに出かける時は相乗りで。
- ② **なるべく近くで活動する。**  
行くだけで時間が取られたり、消耗したりするような遠方には、なるべく出かけない。
- ③ **楽しみを見出す。**  
活動先での食事、現場での競技観戦など。
- ④ **交流を楽しむ。**  
立場、性別、年代、国籍が違う人々との出会いを楽しみ、新たな友達をつくる。

今の目標は、70歳で札幌2030冬季オリンピックでボランティアをすること！



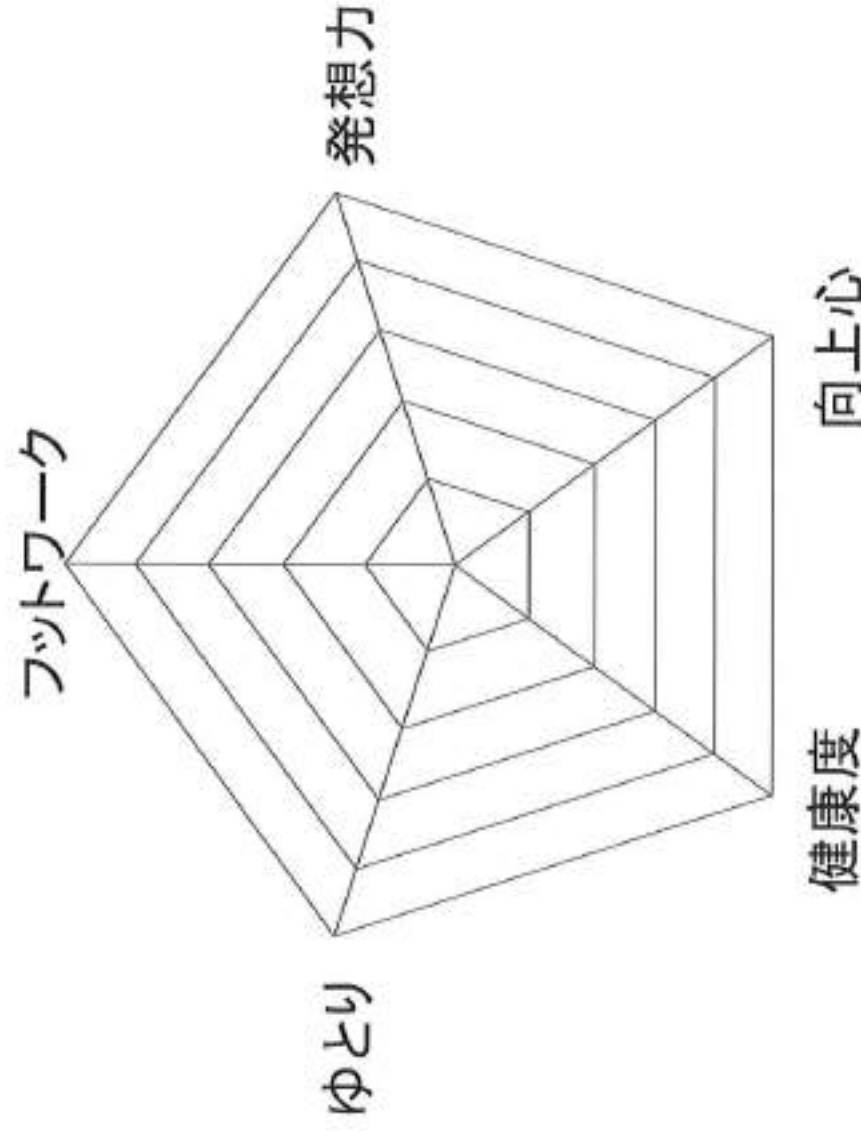
## ワーク①ボランティア活動を色に例える

- あなたが思い浮かべるボランティア活動は、色に例えると何色になりますか？



## ワーク②自己診断ダイヤグラム

- 自分自身の【フィットワーク】【向上心】【発想力】【健康度】【ゆとり】を1～5点で分析してみましよう。







## ワーク④ボランティア活動をネットで探してみよう！

SSID	暗号化キー(すべて半角小文字)
aterm-332e42-g	0a69ff7b3c2da
aterm-332e42-a	0a69ff7b3c2da
WXHAM_N32_d8e37a	3ff36cfde5330

## ワーク④ボランティア活動をネットで探してみよう！

### 「仙台 ボランティア 探す」と検索すると、

ボランティア参加・募集 - 仙台市社会福祉協議会

仙台でのボランティア募集 | activo (アクティボ)

仙台での単発/国内ボランティア募集 | activo (アクティボ)

みやぎNPO情報ネット ボランティア募集

宮城県のボランティアのメンバー募集 - ジモティー

生涯学習ボランティア活動支援事業 - 仙台市

ボランティア活動 - 仙台観光国際協会

気に入った活動を見つけたら、周りの人に話したり、申し込んだりしてみよう！



ボランティア活動の楽しさを知ろう！語ろう！体験しよう！

# 地域共生ボランティア養成講習

「ボランティアの楽しさを語ろう～実践編」

講師 清水 福子氏

(認定 NPO 法人 あかねグループ理事長)



開催日：平成4年11月5日（土）14時00分～16時00分

会場：トークネットホール仙台 第2会議室

主催：公益社団法人 長寿社会文化協会

後援：仙台市教育委員会



講師

# 清水 福子

認定 NPO 法人あかねグループ

理事長



連絡先

認定 NPO 法人 あかねグループ

〒984-0823 仙台市若林区遠見塚 1-5-35

TEL 022-285-0945 FAX 022-282-4788

e-mail : npoakane@violin.ocn.ne.jp

2022 年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

ボランティア活動の楽しさ知ろう！語ろう！体験しよう！

## 「地域共生ボランティア養成講習」

第 2 回「ボランティアの楽しさを語ろう～実践編」

令和 4 年 11 月 5 日（土）午後 2 時～午後 4 時

トークネットホール仙台（仙台市民会館）第 2 会議室

プロフィール：あかねグループは、1982 年、10 人の有志により任意のボランティア団体として誕生。幾多の変遷を経て、今日まで活動を進めている。目指すところは、私たちが日々生活する地域において、住民の誰もが気軽に参加できるボランティア活動の場を提供すること。また、お互いの助け合いの心により、高齢者が在宅でより生き甲斐の持てる暮らしを実現できるよう、配食・介護などの事業や学習の場の提供も行っている。今後も「出会い」「ふれあい」「学び合い」をモットーに歩んでいきます。地域の福祉拠点として、だれでも参加しやすいボランティア活動の場と、生涯学習の場を提供し、地域福祉の発展を願って活動しています。赤ちゃんから高齢者まで、共に支え合いながら安心して暮らせる【まちづくり】を目指している。会員は、ひとり一人の個性を磨きながら、仲間づくりと、社会参加をしている。





地域共生ボランティア養成講習

# ボランティアの楽しさを語ろう

～あかねグループの活動から～



認定特定非営利活動法人 あかねグループ

理事長 清水 福子



## あかねグループの理念

地域の福祉拠点として、住民誰もが参加しやすいボランティア活動の場の提供と、特に高齢者が在宅で暮らすことのできるサービス提供事業などを行って、地域社会の福祉の発展と住民の生涯学習に寄与します。

出会い、ふれあい、学び合い、  
そして支え合い



## あかねグループの歩み

- 1982 10人の主婦により任意グループとして誕生
- 1999 NPO法人格取得
- 2016 認定NPO法人格取得





# あかねグループの活動者

## ◆有償/無償ボランティア

- 男性 24名    カーボラ・グリーンサポート・調理・包丁研ぎ
- 女性 49名    厨房・配達・おたより・ふれあいサロン

## ◆職員

- 常勤 6名
- ヘルパー 15名
- パート 13名

## ◆平均年齢

- 68.3歳





# あかねグループの活動内容

- 配食サービス事業
- 訪問介護サービス事業
- 総合事業
- 居宅介護支援事業







# あかねグループの活動内容

- ファミリーサポート活動
- ふれあいサロン活動
- あかねサロン
- 啓発活動・生涯学習の支援
- ボランティア  
コーディネート







# あかねグループのボランティア

配食サービスにかかわる  
ボランティア

- 調理ボランティア
- 配達ボランティア
- カーボランティア
- 包丁研ぎ









# あかねグループのボランティア

居場所づくり・介護予防に  
かかわるボランティア

- ふれあいサロン  
ボランティア



居場所づくり・地域交流に  
かかわるボランティア

- あかねサロン  
ボランティア







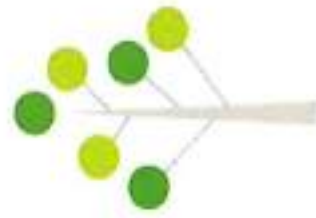
# あかねグループのボランティア



生活支援にかかわるボランティア

## ●グリーンサポートボランティア





## グリーンサポーター活動

作業終了後  
きれいになった時  
嬉しい

安い (料金)  
早い (仕事)  
きれい (完了後)

利用者さんが  
楽しみに待っている  
(会話が多くなり  
仕事ができない  
こともある)

体調管理になる  
自分の身体のためになる  
(早起きは三文の得)

包括支援センター  
からの紹介が  
多くなった

作業日は  
酒が美味しい!

除いた草が  
ごみ袋30個位に  
なることも

リピーターが  
とても多い

- H14年にグリーンサポーター開始
- 現在2名が在籍
- 同時にカーボランティアとして活動
- 一日の活動時間 平均3時間以内





## あかねグループ会員の 入会のきっかけ

- 貼紙（ポスター）を見て
- 友人・知人の紹介で
- 中間支援団体に紹介されて
- あかね主催や参加の講座に参加して
- 定年後、妻が「なにか定期的な活動をしてみたら」と申し込んだので
- ホームページをみて
- 母が「あかね弁当」をとっていた
- 退職後、時間に余裕ができ、社会貢献として何か自分のできることをと思ったので





## あかねグループでの 活動はいいかですか

- 仲間と情報交換が楽しい
- 今日も無事配達が終わったという達成感が気持ちいい
- 規則正しい生活のリズムができる
- 役割を与えられて責任感を自覚した
- 高齢の方から感謝されるときが嬉しい
- 会員としてそれぞれの立場で、持っている力を出し合っている
- 配達が性格にあっている
- 利用者さんと顔をあわせると笑顔になれる







# あかねグループとボランティア活動

## ◆ 活動が続いてきたことで

### よかった点

- 会員ひとりひとりが  
いきいきと活動している
- 地域との交流が深まっている
- 個々にあったボランティア活動が  
みつけられる場となった
- ボランティアの活躍と成長が  
団体の成長につながっている

## ◆ これから活動を続ける

### ための課題

- 活動者が集まらない
- 活動者の高齢化
- ボランティアに対する  
意識の変化
- 仕事とボランティアの両立

あかねグループの役割について改めて問いかけられた出来事



## 東日本大震災

そのとき、あかねグループは・・・



一斗缶に炭火で  
ご飯を炊く

ガソリンがない！  
自転車が発発



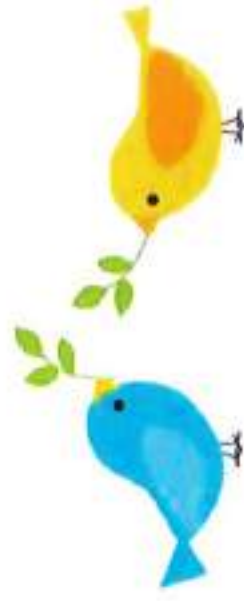
道行く人に  
豚汁を



地震発生の時間で  
止まった時計







# 地域活動へ向けて

## 配食サービスの重要性

- 手作り弁当を届けて  
心と体をサポート
- 個別対応が可能で  
長く食べ続けられる

## 食を通して 情報発信・食支援

会食・料理教室  
あかねちゃん家

## 在宅で暮らし続けるための あかねグループの活動

安否確認・見守り・生活支援  
関係団体との連携

## 元気なボランティアが集い 活動する拠点

＝ 活動を支える「居場所」  
＝ ボランティアが増えることを期待



あかねグループの活動に  
ボランティア「カ」は  
不可欠です。

ありがとうございました。



ボランティア活動の楽しさを知ろう！語ろう！体験しよう！

# 地域共生ボランティア養成講習

「ボランティアの楽しみを知ろう～総合編」

講師 小辻寿規氏

(立命館大学准教授 NPO 法人 つながる KTOTO プロジェクト理事長)



開催日：平成4年10月23日（日）10時00分～12時00分

会場：ハートピア京都 第4会議室

主催：公益社団法人 長寿社会文化協会



パネラー

# 小辻 寿規

NPO 法人 つながる KYOTO  
プロジェクト理事長

立命館大学

共通教育推進機構准教授。



## 連絡先

〒602-0835

京都市上京区革堂内町 522

TEL 050-3593-6615

e-mail : machi.ibasyo@gmail.com

ボランティア活動の楽しさ知ろう！語ろう！体験しよう！

## 「地域共生ボランティア養成講習」

第2回「ボランティアの楽しさを知ろう～総合編」

令和4年10月23日（日）午前10時～正午

ハートピア京都 第4会議室

プロフィール：NPO 法人つながる KYOTO プロジェクト理事長。立命館大学共通教育推進機構准教授。1985年7月京都市生まれ。日本学術振興会特別研究員(DC2)、大谷大学社会学科地域連携コーディネーター、京都橋大学現代ビジネス学部助教等を経て現職。大学時代より「人と人とのつながり」に興味を持ち研究をはじめ。専門は社会学(主にまちづくり学、地域社会学、都市社会学)、社会福祉学(高齢者福祉学、地域福祉学)。主に研究をおこなっているテーマは孤独死問題、社会的孤立問題、まちの居場所(コミュニティカフェ)、若者による地域活性化、地方創生。ボランティア活動は大学生時代から行うようになり、生涯学習や福祉等、様々な分野に携わる。現在も様々な活動に関わっており、草津市教育委員会教育委員、NPO 法人山科醍醐こどものひろば理事、公益財団法人草津市コミュニティ事業団理事などを務める。主な論文に「高齢者社会的孤立問題の分析視座」『コア・エシックス』、「まちの居場所の研究——まちの学び舎ハレハウスの事例より」『生存学研究センター報告 19 戦後日本の老いを問い返す』、「孤独死報道の歴史」『コア・エシックス』(共著)がある。

つながる KYOTO プロジェクトの紹介：NPO 法人つながる KYOTO プロジェクトでは、まちの居場所(コミュニティカフェ)の普及及び支援・研究活動やまちづくりの支援活動をしています。前身としては京都市未来まちづくり100人委員会の「人をつなぐ福祉のコミュニティづくりチーム」と立命館大学産業社会学部社会調査士実習クラスによる協働の活動がそれにあたります。2013年2月12日に特定非営利活動法人格を取得し、法人としての活動を開始しました。**主な仕事：(コンサルタント)** まちの居場所を運営したいけど、どうしたら良いか分からない等のお声に対して、有料でコンサルタントなどを行う他、講師等を派遣します。**(まちの居場所開設講座)** これまで、大学生向けのまちの居場所開設講座(同志社大学での2018年度～2022年度までの授業)のほか、適宜、開設希望者に対して講座を実施してきました。運営者から、運営のコツや最新情報などを教えてもらう勉強会やツアーなども行っています。**(まちの居場所研究)** メンバーに研究者が多いメリットを生かし、まちの居場所の学術的研究を行っています。研究成果については、論文やシンポジウム等で、その結果を公表し、政策提言などを行っています。



地域共生ボランティア養成講習

第1回

# ボランティアの 楽しみを知ろう ～総合編～

立命館大学／つながるKYOTOプロジェクト

小辻寿規（こつじひさのり）



小辻寿規（こつじひさのり）  
プロフィール今日の講座に関係しそうなこと

1985年7月7日生  
まれ

京都府京都市出身

立命館大学共通教育  
推進機構准教授

NPO法人つながる  
KYOTOプロジェクト  
クト理事長

NPO法人山科醍醐  
こどものひろば理  
事

草津市教育委員会  
教育委員

公益財団法人草津  
市コミュニケーション事  
業団理事

審議会等委員



## ボランティアって何？

世の中をよくし  
ていくために大  
切な活動

他の人のために  
何か良いことを  
すること



# ボランティアの性格

自発性

公共性

無償性





ゴミ拾い



瓦礫の撤去



子ども食堂





あなたはどうしてボラン  
ティアをするの？

- 自身の動機を大切に
- 背景にある社会問題・課題も考えよう





ボランティアをすることで  
とても大切なこと





活動の振り返り  
( REFLECTION )



## グループに 分かれての 自己紹介

---

ランダムに分かれて、それぞれのチームで自己紹介

---

ルールは無いです

---

10分間、場を持たせてください

---

初めてのボランティア先ではよくあること

---

小辻やスタッフさんも自己紹介を拝見しにいけます

---

ネタがなければこんなボランティアやってみたいという話  
でもしてください

## 日本のボランティアと社会福祉

---

ボランティアは社会福祉と非常に近い関係

---

日本では奈良時代の施薬院（せやくいん）や悲田院（ひでんいん）がその先駆けとされている

---

システム的には江戸時代頃までは中国を参考に、明治時代以降は欧米を参考に

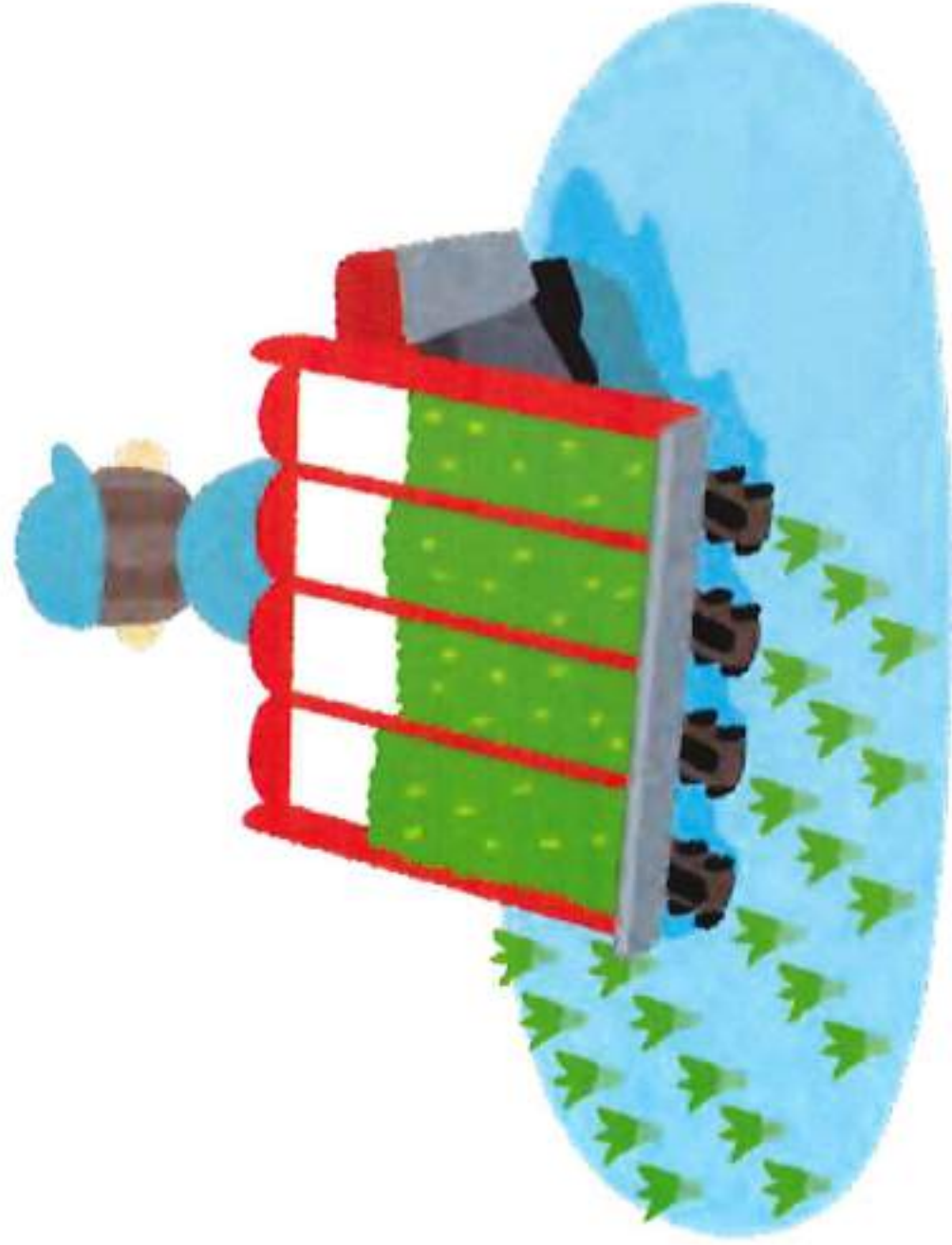
---

太平洋戦争後、社会福祉協議会がやボランティア活動の推進・支援

---

阪神・淡路大震災が起こった際、救援活動に約130万人のボランティアが関わり「ボランティア」がメジャーになる





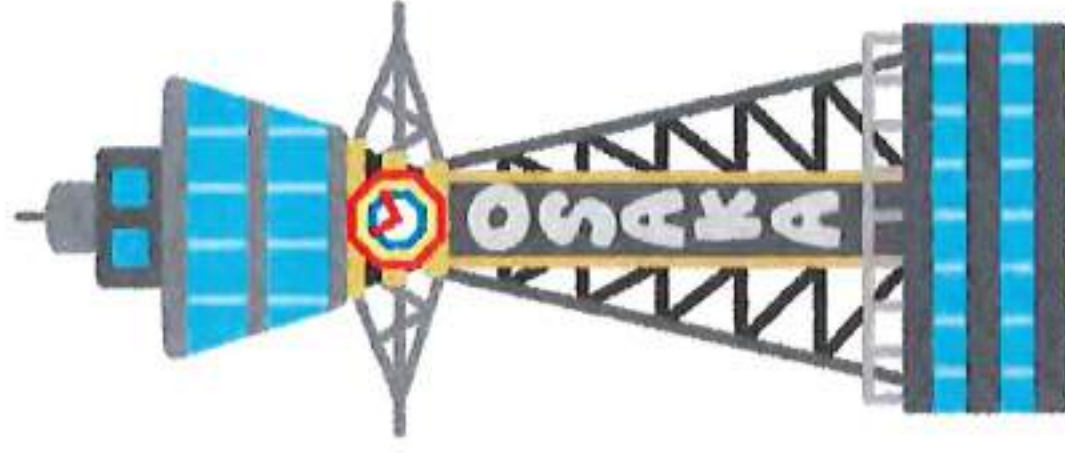
## ボランティア と相互扶助

- 助け合いがなければ、人は生きていけなかった
- 「結（ゆい）」という労働力を対等に交換する共同作業制度があった
- 田植えや土木・建築の工事も助け合った



# 大阪の「八百八橋」

- 水の都とも呼ばれる大阪には多くの橋がある
- 浪華八百八橋（なにわはっぴやくやばし）とよばれる
- 江戸時代にあった200ほどある橋のうち、幕府が架けた公儀橋は12橋であり、残りはほとんど町人たちがお金を出し合って架けた
- 「心齋橋」、「淀屋橋」などは今も有名
- 橋以外に「道頓堀」なども商人がつくった
- 商人が自ら必要だったからつくったがみんなが使えるようにした





# 京都の「番組小学校」

- 1869年（明治2年）、京都の町衆たちの手によって、当時の住民自治組織であった「番組（町組）」を単位として京都に創設された、64の小学校
- 地域住民がお金を出し合ってつくったとされている
- 日本で最初の学区制小学校
- そのため、小学校の跡地利用に対して地域住民からの発言権が強いとされている



## ボランティアと宗教

多くの宗教では助け合いの重要性を説いてきた

特に日本においては江戸時代までは仏教や儒教の影響を受けた

明治時代以降は、キリスト教の教えをベースにした活動も増加





# ボランティアの歴史的変遷





## ボランティアの型

困っている人や動植物等を助けるもの

社会を盛り上げていくもの

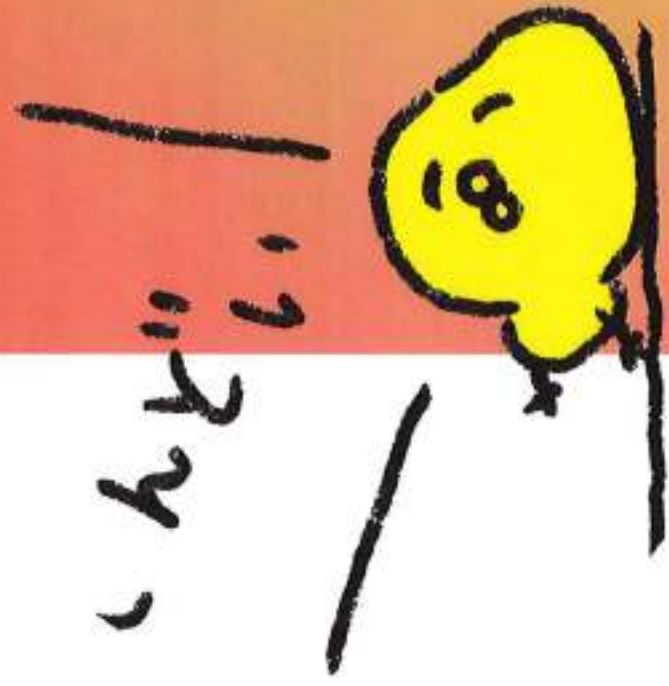
## ボランティアの精神

- 表面的には助け合いに見えても無意識に人権抑圧への抵抗精神、つまり不合理な政治的、社会的圧力への抗議を秘めている





少し、気分転換



# 私のボランティア 体験と ボランティア 観

- 大学1年生
- 児童館
- 児童（小学生）の引率や学  
びのサポート
- キャンプでは児童目線で楽  
しんだ
- 同世代の大学生との交流が  
楽しかった
- 児童それぞれに性格的な特  
徴があって、それに合わせ  
るのはなかなか大変
- 責任がないわけではない





## ボランティアから自 分の活動へ

- 研究者と活動者
- 京都市未来まちづくり100人  
委員会
- 誰か他人の用意したもので  
はなく、自分が用意する



ボランティアはすれはするほど、  
ボランティアではなく生活の一部  
になっていく





あなたはどんなボランティアは  
どのようなものですか？

周りの人と  
語り合って  
みよう

5分程度、話してみる

その後、一部の方に気づ  
きを話していただきませ





ボランティアはそれぞれ違う

何がボランティアかはそれぞれ違う

でも、自分がやりたいこと、やっても良いかなと思うことをすれば良い

やりたくないことをしても良いけど、やるなら全力で

# 新しいボランティアの形



デジタル時代  
あなたのリツイートで社会が動く。

Twitterでリツイートするだけ！  
**指先ボランティア**  
募集中!

TAMBA  
TAMBA  
TAMBA

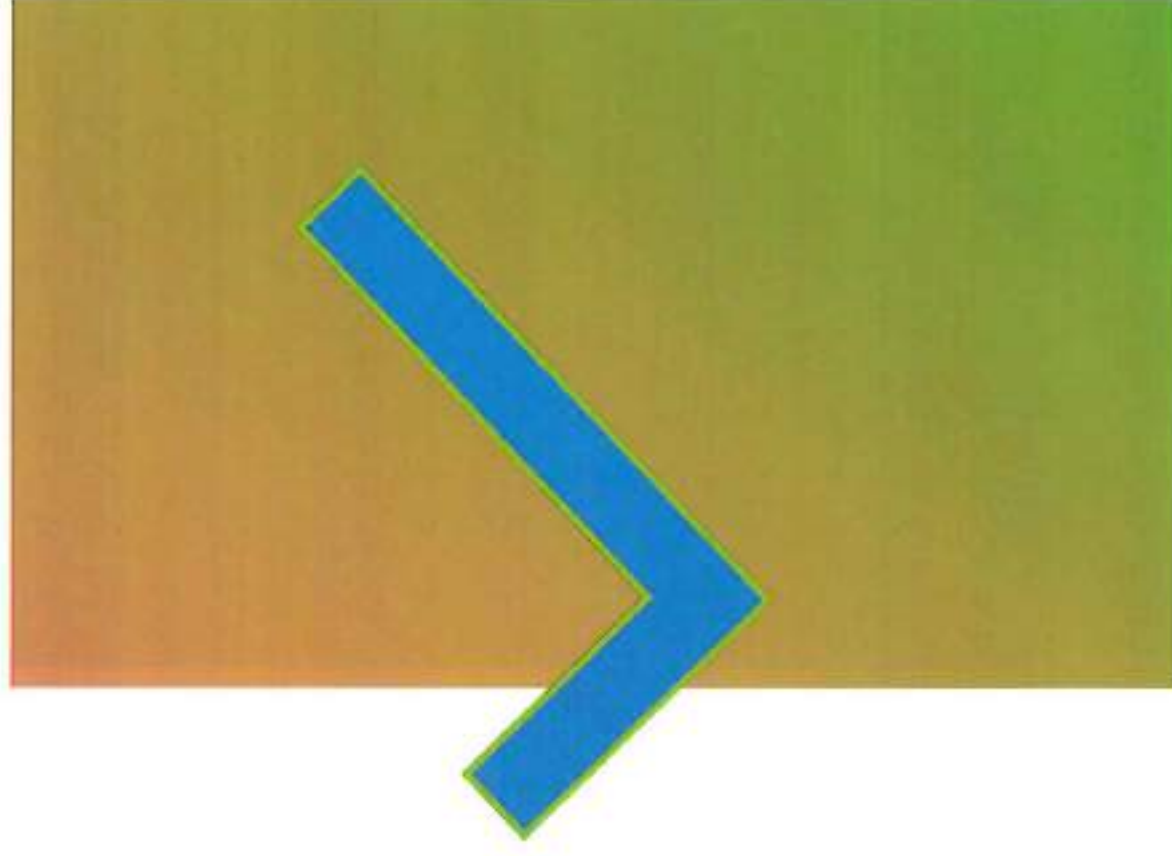
- ・ ウィキペディア
- ・ 自身が開発したアプリの無償提供
- ・ SNS上での情報シェア





## ボランティアの成果の良し悪しは確かに存在する

- でも、みんな最初は分からない
- 相手の言葉を素直に受け入れることも重要
- 我慢をする必要はない
- してもらった際には感謝の気持ちも持とう



## ボランティアの 際に重要なこと

事前に環境（地域性、国民性）を学んでおく

相手の話を聞く

相手に対する尊敬の心を持つ

いくらのお金がかかるかもしれないと思っておく

自分のことは自分です

物事を相手の立場で考える





そして何よりも  
自分が楽しむ

なぜ、大学でボランティアを  
教えるのか



## 市民活動と学生 ボランティア (明治期以降)

学生セツルメント（大学生による貧民救済事業として始まった学生サークル活動、日本では東京帝国大学の学生を中心に活動が開始された）

日本においての学生セツルメントは高度経済成長の影響で、極端な貧困地域なども少なくなる中で縮小化していった

学生セツルメント運動からボランティアサークルへと変化していく活動も多くなった

## セツルメント

- ・ 宗教家や学生などによる社会の下層に属する人々に対する社会事業の一つ。主として宗教的，教育的立場からなされるものが多い。その事業内容はさまざまであるが，一般に，保育，学習，クラブ，授産，医療，各種相談などがある。1884年，ロンドンでケンブリッジ，オックスフォード大学の学生らが A.トインビーを中心として労働者たちの教育にあたったトインビー・ホールがこのセツルメント活動の最初である。日本でも外国人宣教師によって明治時代に始められたが，片山潜が1897年にキングズレー・ホールを中心に活動したのを一般に始めとする。その後この活動は社会主義運動とともに活発化し，1925年東京本所に東京帝国大学の学生セツルメントが生まれ，学生による活動のさきがけとなった。

出典 ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典



# 大学ボランティアセンターの誕生

1995年の阪神・淡路大震災に約160万人がボランティアとして参加。その約4割が学生

1996年に学生自身が設立、運営する早稲田学生ボランティアセンター、まようと学生ボランティアセンター（現・ユースビジョン）がその先駆け

立命館大学は2004年開設のボランティアセンターを発展させる形で2008年にサービスラーニングセンターを設立

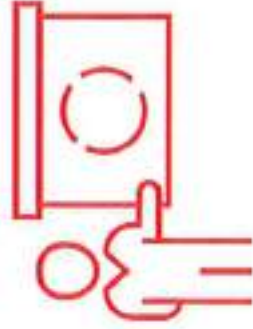
現在は、地域連携センターなどの名前でも各大学に設立



# サービスマーケティング

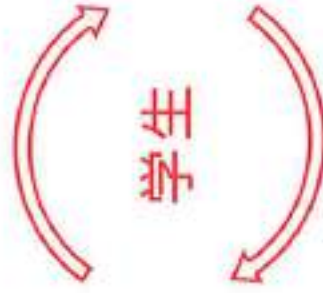
社会活動を通して市民性を育む

地域や課題の理解  
現場での気づき・発見の  
ふりかえり

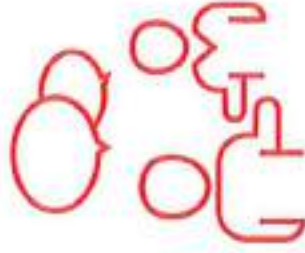


大学

デスクワーク (教室)



学生



地域社会

フィールドワークの現場

地域の活性化や  
課題解決の進展を  
目指した活動





ちよつと裏側からみると

# 大学とボランティア（近畿 地方を中心に）Ⅰ

- 1998年の文部省大学審議会中間まとめ「21世紀の大学像と今後の改革方策について競争的環境の中で個性が輝く大学」では、ボランティア活動やその体験は、将来における生涯学習の一環としてのボランティア活動を含め社会参加活動の促進につながるとされており、自治体などからも、ボランティアとしての大学生の役割を認めている。
- この中に大学の地域貢献も含まれ、それ以降、他校も含め大学の地域連携がより盛んになっていくことになる。特にボランティア活動を中心に地域連携が進められていく流れができ、京都においては同志社、立命館、龍谷、京都産業、佛教の各大学がボランティア支援を行うセンターを立ち上げていく。
- その中で、ボランティアを含め、地域連携の授業が行われていくこととなる。



## 大学とボランティア （近畿地方を中心に）2

- ボランティア支援を行うセンターを立ち上げた立命館大学においては2005年度にボランティアセンター（現・サービスラーニングセンター）を事務局とし、現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）「地域活性化ボランティア教育の深化と発展」が採択されている。
- この採択後、ボランティア活動の支援とボランティア教育の全学的な推進の体系的な実施スキームが整備され、現在のサービスラーニングの授業が実施されている。



## 大学とボランティア（近畿地方を中心に） 3

- ・ 2005年1月の中央教育審議会の答申（我が国の高等教育の将来像）では、大学は全体として7つの機能を併有していることが掲げられ、その機能の一つとして「社会貢献機能（地域貢献等）」が位置づけられる。
- ・ 同志社大学においては現代GPにおいて2006年度に「公募制のプロジェクト科目による地域活性化－往還型地域連携活動のモデルづくりを旨指して－」が、2009年度に「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」として「プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育～課題探求能力を育成するPBL教育の方法論的整備～」が採択され、これらの取り組みを継続発展させ、地域社会や企業を講師に迎え入れたプロジェクト・ラーニング（PBL）「プロジェクト科目」を実施している。



# 地（知）の拠点整備事業（大学COC 事業）の時代へ

- 2013年度に文部科学省が、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として「地（知）の拠点整備事業（COC）」を実施する。（2014年度も実施）
- 2015年度には大学が地方公共団体や**企業等**と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に変更。複数大学での応募が必須となったほか、COC採択大学に關しても応募が推奨された。
- 後継事業は大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（事業通称名：COC+R）  
←規模は小さい





# 私立大学研究ブランディング事業

平成30年度予算額 5.6 億円 (5.5 億円)

※ 「私立大学研究ブランディング事業」の推進を図るための関係機関の連携強化に関する取組

学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学の機能強化を促進する。

## 【事業イメージ】

地域で輝く大学等への支援

### タイプA 【社会貢献型】

地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定分野の発展・深化に寄与する取組

※ 申請は地方大学（三大都市圏外に所在）又は中小規模大学（学部定員1,000人以下）に限定

### タイプB 【産業振興型】

イノベーション創出など経済・社会の発展に寄与する大学等への支援

先端的・学際的な研究拠点の整備により、全国的あるいは国際的な経済・社会の発展、科学技術の進展に寄与する取組

各大学の特色化・機能強化の促進

## 選定方法と審査の観点

### 【事業体制】

- ▶ 事業実施体制の整備状況（学内予算の配分、外部意見の聴取、外部評価体制）
- ▶ 全学的な研究支援体制の整備状況（研究実施体制、研究支援体制、自己評価・評価制度）
- ▶ ブランディング戦略（独自色の顕著、効果的な情報発信手段・内容の検討）

### 補助条件等

- ・ 専任の事務局は専任で1大学1件限り
- ・ 各大学における研究の進捗状況及び成果の発信・普及を認めることとし、文科科学省ホームページ等を通じて各大学が打ち出す独自色を評価
- ・ 経費額は最大5年間で1校当たり年額2,000～3,000万円程度

## 事業体制と事業内容を総合的に審査

### 【事業内容】

- ▶ 事業目的（現状・課題の分析、事業目的と大学の将来ビジョンとの整合性）
- ▶ 期待される研究成果（本事業の推進との整合性）
- ▶ ブランディング戦略（打ち出そうとする独自色、ブランディングの工程）等

## 私立大学研究ブランディング事業（タイプA）

- 地域連携の次の支援制度としても期待されるが…
- 汚職事件もあり、終了



# 生き残りをかけた地域貢献

- 住民の生涯学習や多種多様な主体の活動を支えると同時に、地域や社会の課題を共に解決し、その活性化や新たな価値の創造への積極的な貢献が求められている

(文部科学省)

- 大学に求められる国際化と地域貢献
- 小規模大学は国際化は難しい
- 地域貢献をせざるをえない
- 地域連携センター等の乱立
- 中身なき地域連携の危険性





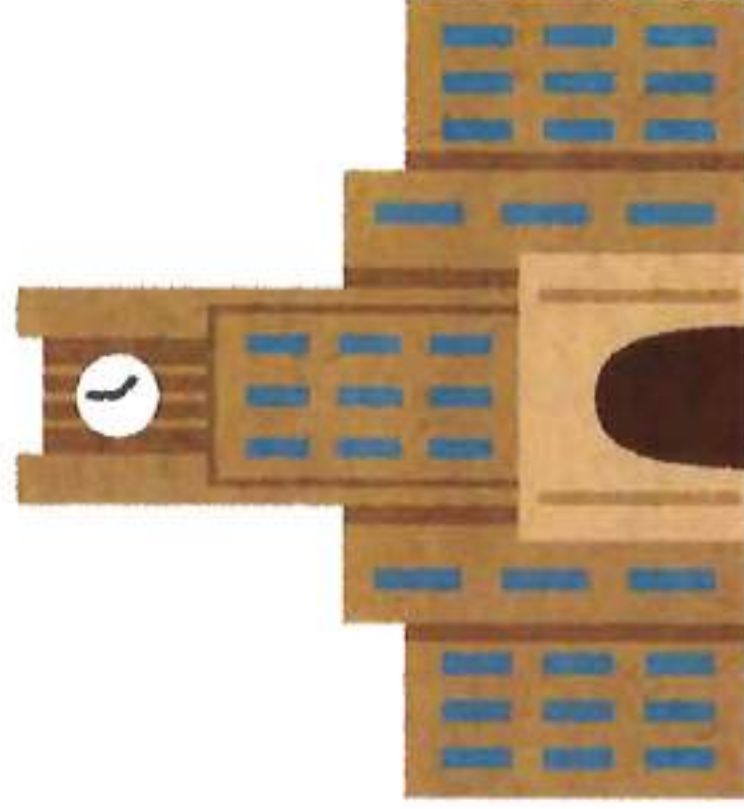
# 大学の まちづくり の推進

現代GP→COC→COC+



# 大学がボランティアを 推進するメリット

- 大学の社会（地域）貢献の一環
- 未来の受験生への宣伝効果
- 大学の知の社会還元
- 学生のボランティアフィールドの確保
- 文部科学省へのアピール
- 地方自治体とのつながりづくり



ちよっと裏側の話でした



# 活動としてのボランティアからちよボラへ？

- 許されないことがあるから
- 困っている人を助けたい
- 政治活動的な側面もある
- 被災地支援
- ちよっとした人助けがいい
- 就職活動に向けた活動



とはいえ、ボランティアを  
勧誘の隠れ蓑にしている団  
体もある

- 活動先の注意は必要
- 場合によっては活動が面白くても身を  
引くことも大切



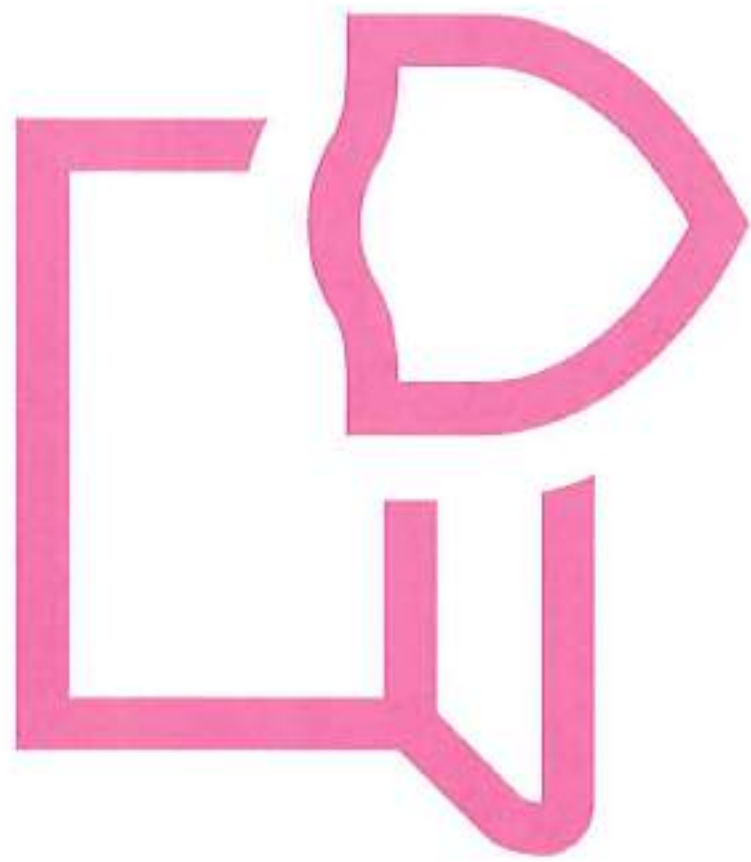


だからこそ、活動先の  
選定は厳しくもある



# ワークを中心と した時間





活動を振り返る

「ボランティア等の体験を思い出し、自分の気持ちをふりかえる」 名前 ( )

あなたは誰に何を言ったか/何をしたか

いつ、どこで

そこには誰がいたか

どんなできごとだったか

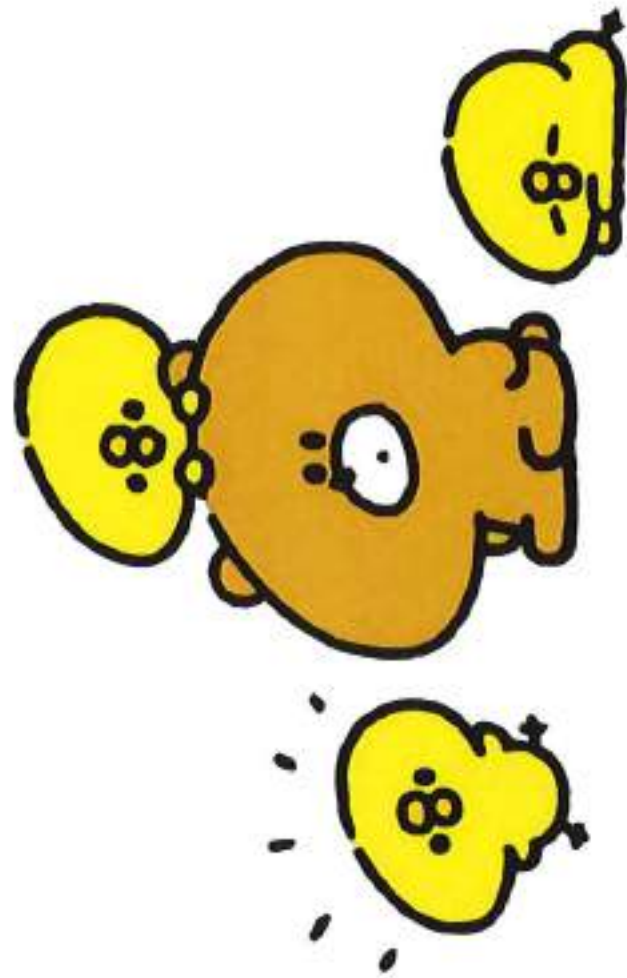
そのとき、あなたはどのような気持ちだったか

誰があなたに何を言ったか/その人は何をしていたか

私

相手

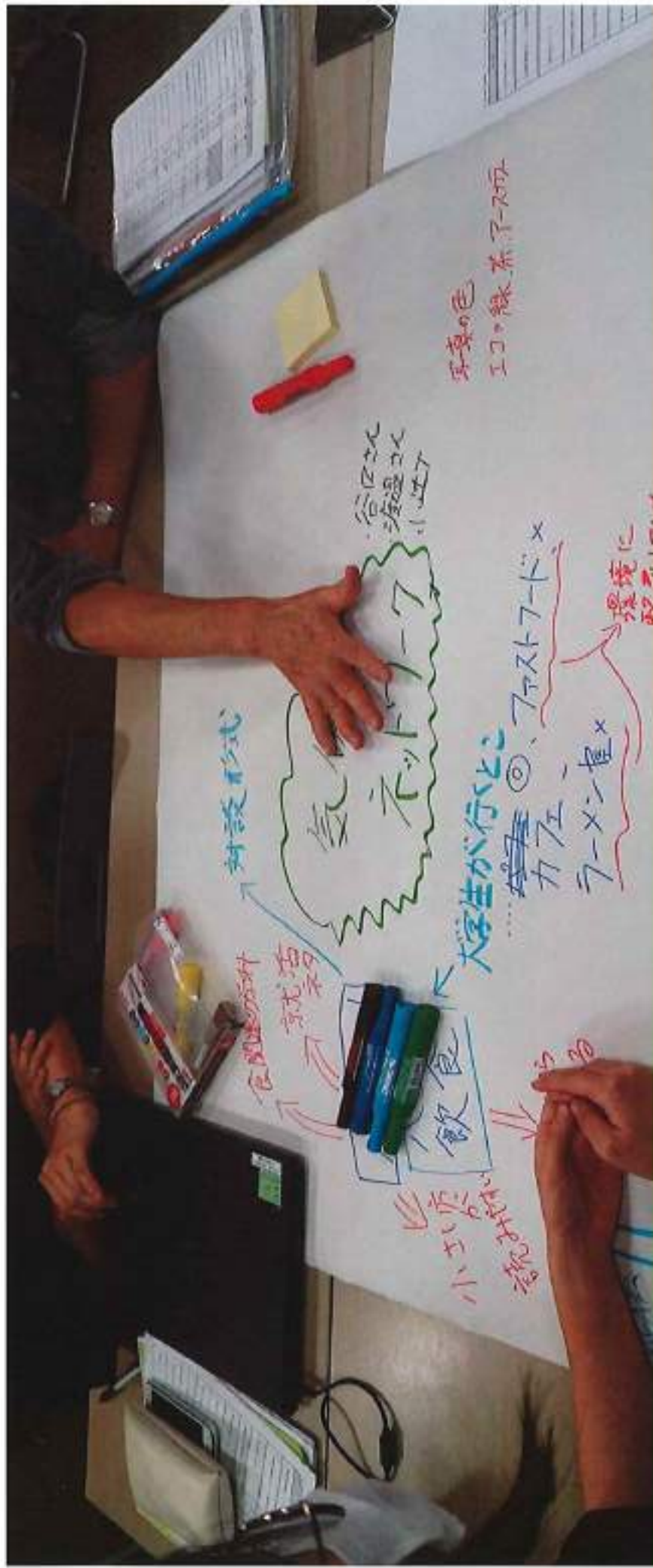




周りの人と話し  
合ってみましょう



他の方がお話の際は  
模造紙にメモしよう



自由に書いてください



A close-up photograph of several people's hands clasped together in a circle, symbolizing unity and teamwork. The hands are of various skin tones and are positioned in a way that suggests a group effort or a shared goal. The background is slightly blurred, focusing attention on the hands.

活動から社会課題をみる

WORK 心にひっかかった体験と社会の課題とのつながりを考えるヒント 名前 ( )

④「あなたの心にひっかかった体験」における、相手の言葉や行為を引き起こした事情・背景から考える。

◆ その人は、どうして「その言葉を書いたのか」「そういう行為をしたのか」

→ それを読み解く方法

「その人をめぐる個人的な要因」

- その人がそういう性格だから ● その人がそれを好きだから/嫌いだから

相手

「その人をめぐる関係性へ注目する」

- その人と自分はそういう関係だから ● その人と家族がこういう関係だから
- その人が暮らす集団では、その人はこういう位置づけだから

「そこにある社会的な要因」という視点を持つてみる

- ✓ 「どういう社会がそれを言わせているのか」/「どういう社会がそれをさせているのか」

→そこから体験を通じて見えた「社会の課題」とは？

②「あなたの心にひっかかった体験」における、自分の言葉や行為、感情を引き起こした事情・背景を考える。

◆ 私は、どうして「その言葉を書いたのか」「そういう行為をしたのか」「そういう気持ちになったのか」

→ それを読み解く方法

「自分をめぐる個人的な要因」

- 自分がそういう性格だから ● 自分がそれを好きだから/嫌いだから

私

「自分をめぐる関係性へ注目する」

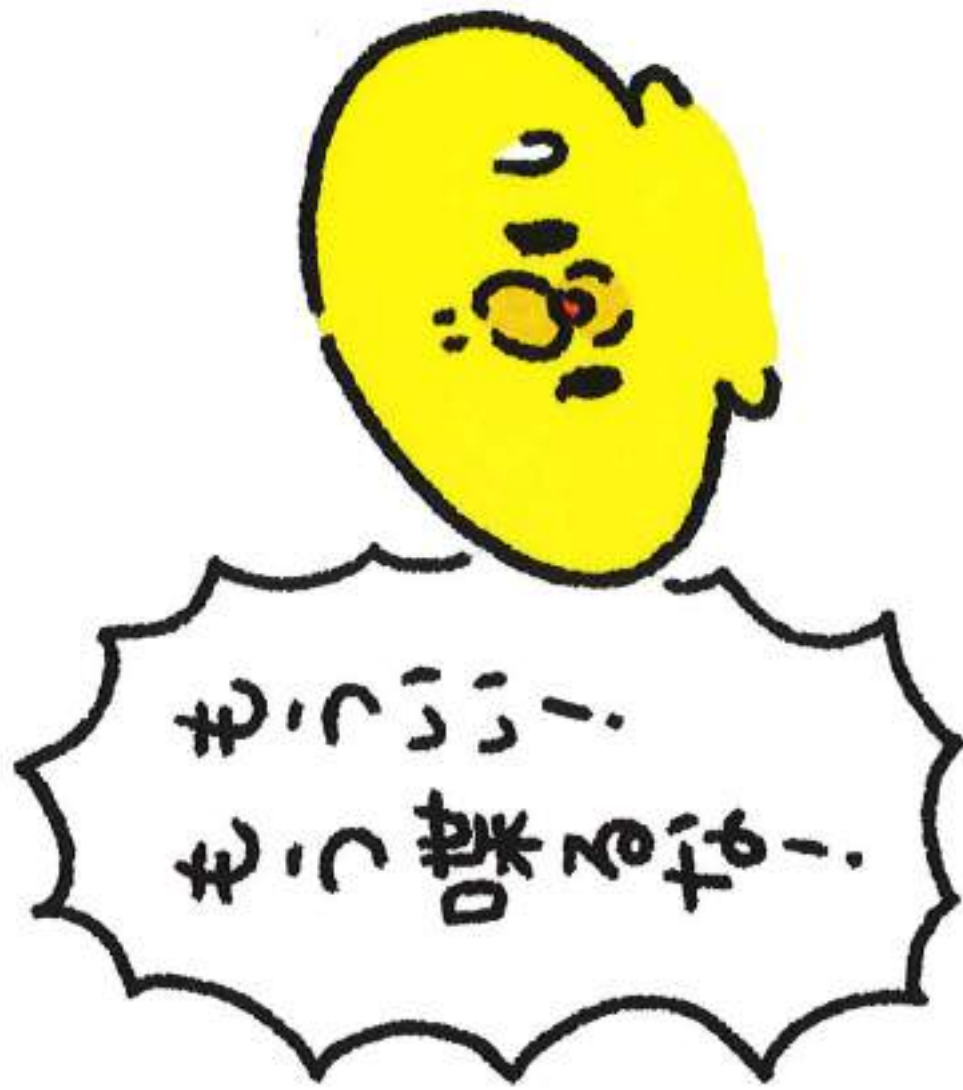
- 自分と相手はそういう関係だから ● 自分とあの人がこういう関係だから
- 自分が暮らす集団では、自分はこういう位置づけだから

「そこにある社会的な要因」という視点を持つてみる

- ✓ 「どういう社会がそれを言わせているのか」/「どういう社会がそれをさせているのか」

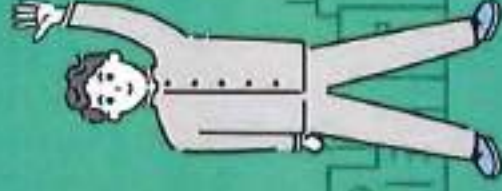
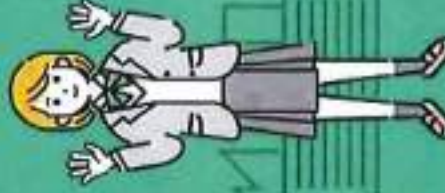
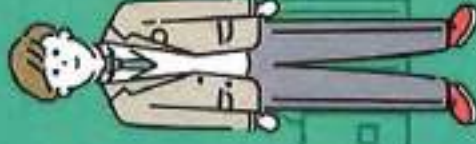
◆ 私は、これまでにorこれ以降、同じような体験をしていないか

私の経験から





ヤングケアラーって？



子どもが子どもでいられる街に。

<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>





障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、かいきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている



目を患えない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や聴かぬのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・認知・精神疾患など慢性病的な病気の家族の看養をしている

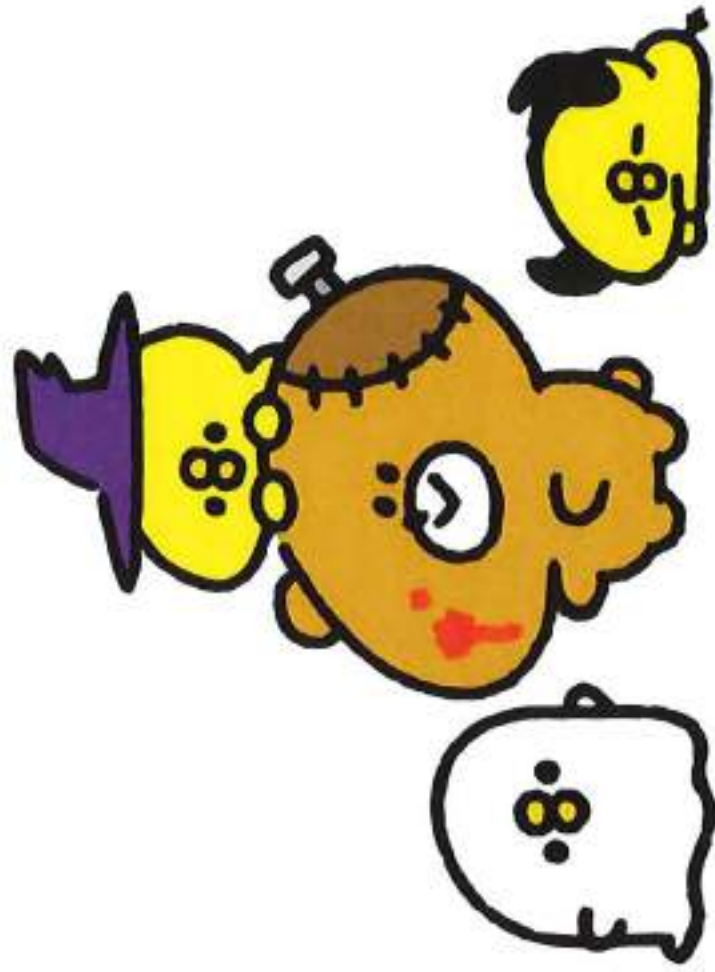


障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

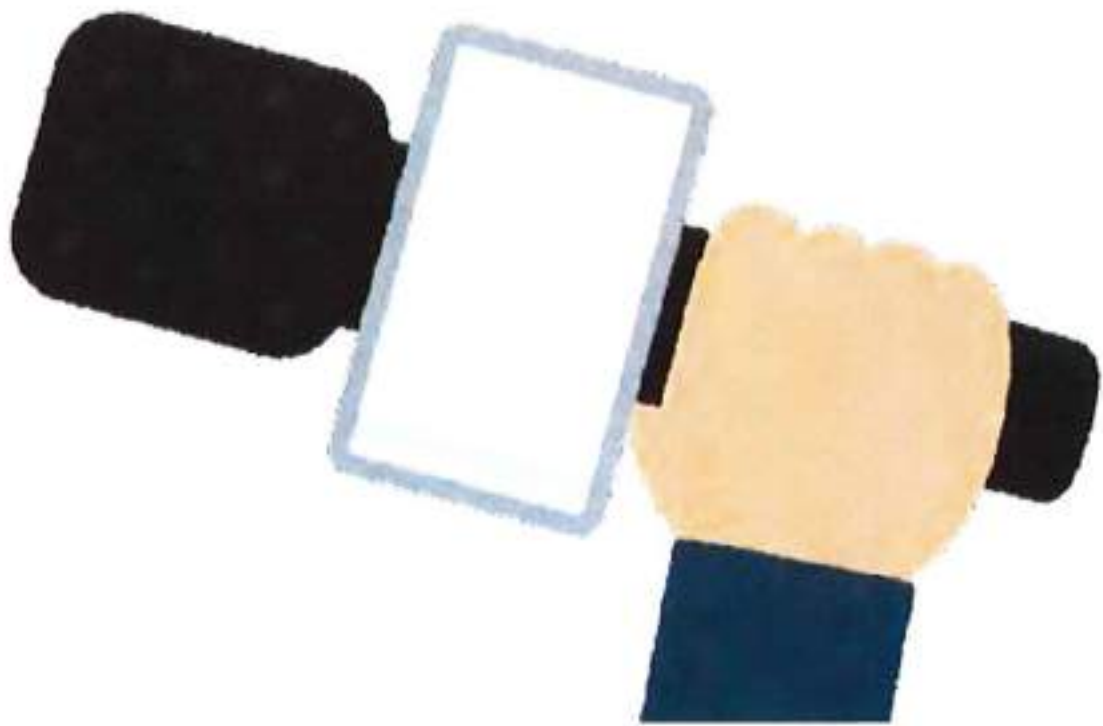




周りの人と話  
し合ってみよう



インターネットします





## 最後に

誰かに何かをして喜  
んでもらった経験を  
語ろう



ボランティアは  
楽しい、嬉しい



ボランティアしたい思いは  
心の「ひっかかり」の中にある



ボランティア活動の楽しさを知ろう！語ろう！体験しよう！

# 地域共生ボランティア養成講習

「ボランティアの楽しさを語ろう～実践編」

講師 金治 宏氏

(京都光華女子大学准教授 NPO 法人 happiness 理事)



開催日：平成4年11月6日（日）10時00分～12時00分

会場：ハートピア京都 第4会議室

主催：公益社団法人 長寿社会文化協会

ボランティア活動の楽しさ知ろう！語ろう！体験しよう！

## 「地域共生ボランティア養成講習」

第2回「ボランティアの楽しさを語ろう～実践編」

令和4年11月6日（日）午前10時～正午

ハートピア京都 第4会議室



講師

# 金治 宏

NPO 法人 happiness 理事

京都光華女子大学

キャリア形成学部准教授



連絡先

ハピネスカフェ、ハピネス子ども食堂

〒601-8451

京都市南区唐橋川久保町 1-20

TEL 050-5218-9179

e-mail : [happiness.kyoto@gmail.com](mailto:happiness.kyoto@gmail.com)

プロフィール：京都光華女子大学キャリア形成学部教員（経営学博士）。経営学の立場から地域住民と行政組織による社会的課題の解決について研究する。学生時代は神戸市長田区でまちづくり活動に参加。大阪ボランティア協会などを経て現職。勤務校では、社会的孤立をテーマに、学生たちと一緒に子ども食堂でボランティアをしたり、高齢者の居場所づくりもしている。プライベートでは1児（4歳）の父として日々子育てに奮闘中。

「ハピネス子ども食堂」の紹介：「こどもの孤食を減らしたい」今、共働きやシングル家庭の増加などから、ひとりで食事をとっている子供たち（孤食）がすぐ近くにたくさんいることに気がつきました。コンビニのインスタントばかり食べている子やお菓子でお腹いっぱいさせている子。ひと昔前には当然だった、「食事」を通したコミュニケーションから子どもたちがすくすくと育っていきけるような居場所にしていきたいとおもっています。

「家庭環境による学習格差をなくしたい」わからないところがあっても、お留守番をしていると聞ける人がいません。おとなの帰りを待っている子供たちは、家のお手伝いに追われたり、夜遅くに宿題をすることもできなくて、わからないことをわからないまままで終わらせてしまうこともしばしばです。ハピネスでは一緒に宿題をして、勉強することの楽しさや、その日学校であった話を聞き、どんなことが嬉しかったのか、悲しかったのか、悔しかったのか、子どもたちに寄り添い成長を見守っていきたいです。

「たまにはのんびりしたい」仕事と家庭を両立していると、毎日が戦争のように過ぎていきます。ほとんどが核家族世帯となりサポートしてもらえない環境もなく働いているお母さん（お父さん）は毎日必死です。たまには息を抜ける場所も必要だと思います。ぜひハピネスを活用してリフレッシュしてみてください。（大人の参加は300円です）



**地域共生ボランティア養成講習**

**第2回**

**ボランティアの楽しさを語ろう～実践編**

**NPO法人Happiness理事**

**京都光華女子大学**

**金治 宏（カナジ ヒロシ）**

## 本講習の概要

ボランティア活動に興味や意欲を持ってもらい、養成講習  
修了者が、コミュニティカフェの立上げや**地域共生** / **地域福祉**  
**ボランティア**の担い手の1人として、様々な活動に参加する  
「きっかけ作り」をする

認知症カフェや子ども食堂の立上げ ⇒ **地域共生** 社会の実現

## 簡単な自己紹介を

金治 宏（かなじ ひろし）

兵庫県姫路市出身

### 【ボランティア活動】

- ・震災後の神戸市長田区で多文化共生のまちづくりに取り組む
- ・多言語コミュニティラジオ局で番組「恋する！NPO」を10年間担当
- ・名古屋市若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」パートナー
- ・名古屋市の認知症カフェ運営ボランティア交流会 アドバイザー
- ・京都市南区にあるハピネス子ども食堂のボランティア/理事

### 【研究テーマ】

社会課題の解決に向けた市民・NPOと行政組織の協働（専攻：経営学）



## きょう、取り組みたいこと

1. ボランティアの見つけ方
2. ボランティアの魅力と大切にしたいこと
3. コミュニケーション実習-ボランティアを楽しむために
4. とともに生きると私たちができること

# 1. ボランティアの見つけ方

**「ボランティア」**

**「福祉」**



## ボランティアとは

地域的・社会的課題に対して、「**おかしいぞ**」とか  
「**おもしろそうだ**」といった**関心**から出発し、それを  
他人事にしないで**自ら主体的に選びとって**、  
**他の人びとと協同的に課題を解決しようとして**  
行動する人

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 福祉と聞くと

障害者やお年寄りのことをイメージするのが多いという実態

※ 援助を必要とする弱い立場を想像しがち



結果として、福祉は**他人事**になり、「**かわいそうな人を助けてあげるのが福祉だ**」という**狭い福祉観**になりがち



**福祉** = **ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ

- 「**福祉**」という語はもともと「**幸せ**」を意味する
- 訳語である**welfare**の語源は「**幸せに生きる**」

## あなたに合ったボランティアの見つけ方

- ・ 得意なことや経験をもとに選ぶ
- ・ 条件で選ぶ
- ・ 活動できる日時（週末、○曜日、放課後…）
- ・ 場所・距離（家、学校、職場の近いところ）
- ・ 頻度（週1回、月1回など）

★ 迷ったときは→「共感する」「好きな」活動分野を

# 市民活動 情報共有ポータルサイト

by 京都市市民活動総合センター

ホーム メインメニュー 読み物

検索

各種情報提供窓口・お問い合わせなど

ボランティア活動やイベント情報など、あなたの市民活動に役立つ盛りだくさんの情報をお届けします。

1,071 いいね!

何かしたいあなた

「見たい・知りたい・参加したい」検索キーワードを入力

市民活動団体等で活動するあなた

「もっとイイねをつくりたい」に参加するあなた

イベントなどの情報

ボランティア募集情報

講座などの情報

物品等の募集情報

それぞれの情報はより細かいカテゴリで分類しています。分類された情報をピンポイントでご覧になりたい場合は、メインメニューからそれぞれの情報のカテゴリメニューを開いてください。

出典：<https://shimisen-kyoto.org/>



検索

共有

◎ このセミナー情報を開く

ボランティア募集

## 京都マラソン 2023 個人・グループ ボランティア募集

半発ボランティア募集 by 京都マラソン実行委員会

いいね！ 0

スポーツ

経済活動の活性化

◎ 掲載：2022 年 8 月 20 日

「京都が好き」、「頑張っている人の力になりたい」、「一度はボランティアをしてみたい」、いろんな気持ちたちが 8,000 人分集まる京都マラソン。



ボランティア募集

## 京都マラソン 2023 ファミリー ボランティア募集

半発ボランティア募集 by 京都マラソン実行委員会

いいね！ 4

スポーツ

経済活動の活性化

◎ 掲載：2022 年 8 月 20 日

小学生 5 年生～中学生も可



※ 京都準いす点検ボランティア スマイルク 谷口 博さんにスポットライトをあてその活動を紹介する記事です。



## スマイルクって何語？

「マルグ」と言えば、ユーロ導入前のドイツの通貨。\*ピスマルグはドイツを統一したプロイセンの首相。さてはドイツ語かと思っ調べてもどこにも出てこない。いったい何語？聞いてみてわかった「出てこないはず」、なんと、準いす（クルマイス）の逆さ読みだった！

↑ 上へ



あなたの「何かしてみたいな」に  
こたえるサイト



大阪ボランティア協会ホームページ



KVネットに寄付する



HOME

ボランティア活動  
を探したい

講座・イベント  
に参加したい

当事者活動  
に参加したい

物品を  
寄贈したい

ボランティア、講座の  
参加者を募集したい

よくある  
ご質問



このサイトの  
使い方  
ボランティア活動・講座  
参加までの流れは  
こちら

あなたの「何かしてみたいな」にこたえるサイト

大阪、京阪神でボランティアがすなら！関西人のためのボランティア活動情報ネット

出典：<https://www.kvnet.jp/>







# あなたができること（出番・役割）

① 思い…

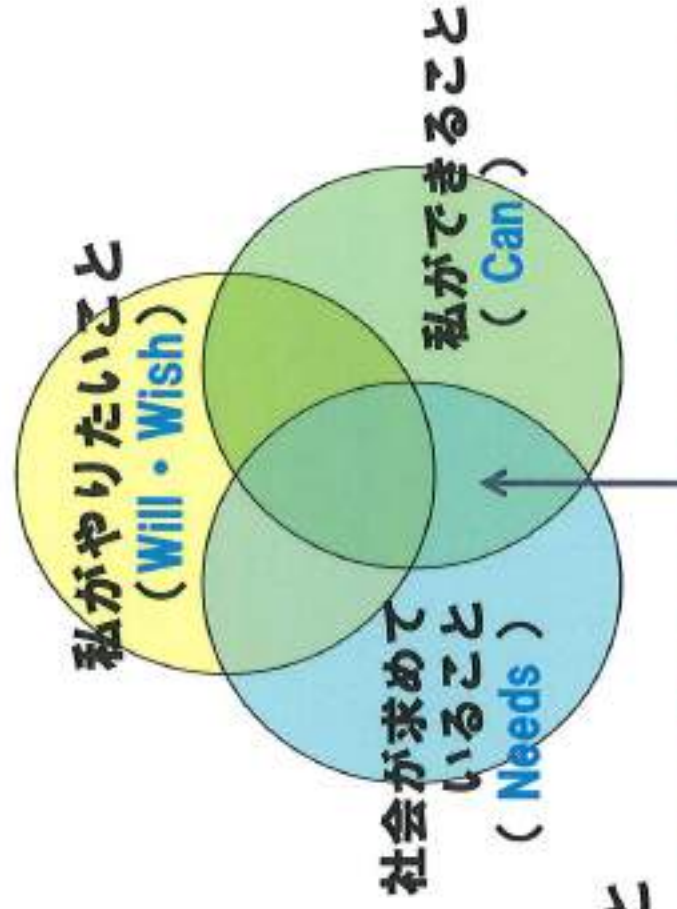
私がやりたいこと  
(Will・Wish)

② 得意なこと…

私ができること  
(Can)

③ ニーズ…

社会が求めていること  
(Needs)



重なるところがあなたの出番・役割

## 2. ボランティアの魅力と大切にしたいこと

## ボランティアのキーワード

- (1) **自発性**：自分からやってみようと思う  
※ボランティア参加者の自発性には濃淡あり
- (2) **社会性**：人のため、社会のために



## ボランティアとは何か

### 【もらった質問】

中学のときに、ボランティアをすると内申点が良くなるという話をきいてボランティアを何日かやりました。

「人の役に立ちたい」という純粋な理由ではない活動でもボランティアと言えるのでしょうか。

## 不純な動機 = 偽善は本当にいけないのか？

偽善はいけないというけれど、**偽善者**はだれかを救っている。  
何もしない人は、たとえ**善人**であっても、だれも救っていない

大切なのは、動機や気持ちではなく、**結果**だと私は思う



しない“善”よりする“**偽善**”

## ボランティアの魅力=社会に向き合う方法

- 自分に合った・自分の好きな活動を選ぶことができる
- **楽しい!**
- **学校・職場や地域、年齢を超えた同じ思いをもった仲間に出会える**
- **社会を知るきっかけになる → 社会の窓**
- **活動のなかで「発見」「気づき」あり**



## 大切だと思うこと

- ① 「善意」の活動が「善行」となる保証はない
- ② 異なる心情や個性を認めよう
- ③ 応援を求め立場をどう捉えるか  
— “仕方なく” 選ばれるボランティア

## ワーク

あなたはボランティアを受け入れる団体の担当者です。

「**こんなボランティアに来てほしい!**」と思う人は

どんな人ですか？

3つ書いてください。

### **3. コミュニケーションシヨソン実習**

- ー ボランテイアを楽しむために**



## 大切だと思うこと

- ① 「善意」の活動が「善行」となる保証はない
- ② 異なる心情や個性を認めよう
- ③ 応援を求め立場をどう捉えるか  
— “仕方なく” 選ばれるボランティア

**社会的課題を解決したいという「思い」をもった人が  
集まって、組織化する = NPO**

## 仲間と一緒に活動することの意義

- 組織化の効果
  - ・ 継続性・安定性の向上
  - ・ 数の力による活動量の拡大
  - ・ バランス感覚の向上
  - ・ メンバー間相互の支え合い
  - ・ 活動への入りやすさ
- 一方で、集団内での関係調整という関係あり = 経営



## **4. ともに生きると私たちができること**

**ともに生きる**

**その人が変わるべきなのか**

**社会の方が変わるべきなのか**

## 障害学のなかで共有されてきた考え方

- **医学モデル（個人モデル）：**

障害者が困難に直面するのは「その人に障害があるから」であって、克服するのはその人の責任だとする考え方

- **社会モデル：**

「社会こそが『障害（障壁）』をつくっていて、それを取り除くのは社会の責務だ」とする考え方

（例）車いすで生活をしている人は、段差が少なくスムーズな移動ができる街であれば、出かける際に障害をそれほど感じずに済む



## 社会的障壁をなくす = ともに生きるために

- 一人ひとり社会的障壁が違いため、正解はない
- 解決策のひとつは「理解すること」 = ボランティア
- その理由は、社会的障壁の多くを「社会が作り出しているから」  
= 社会モデル

## 私たちができること

「大切にしてきた暮らしを続けたい」という思い



私たちの出番・役割

気にかける、あいさつをする、理解する、ゴミ出しを手伝う  
といった、地域でともに暮らすうえでの当たり前の働きかけ



小さな積み重ねが「ともに生きる」の土台となる

仲間との出会い